

さいたま市立大原中学校 学校だより



新しき光



さいたま市立大原中学校

TEL 048-831-5397 FAX 048-835-1357

WEB <https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

第1号

校訓「歴史を拓く」 学校教育目標「はつらつとした生徒、地域に輝く学校」

令和6年4月8日発行

魅力発信！大原中学校

＝キーワードは「笑利」と「求利」＝

校長 越智 宏明

少し遅めな桜の開花とともに、麗らかな日差しに包まれて令和6年度が幕を開けました。

さて、私はこの4月の人事異動で、岡村 洋彦 校長の後任として着任いたしました 越智 宏明（おち ひろあき）と申します。地元浦和で育った住人として、伝統ある大原中学校の一員となれたことは、この上ない光栄であるとともに、身の引き締まる思いであります。保護者や地域の皆様に支えられながら、70周年を迎えた大原中学校の更なる発展のため、全力を尽くす所存です。どうぞよろしく願いいたします。

さて、本年度の大原中学校は、215名の新入生を迎え、全校生徒699名での新たな門出となりました。新しい学年、学級に不安も多いことと思いますが、教職員と生徒たちで支え合い高め合いながら、学校の新たな未来を創造していきたいと思っております。

今年度も本校の教育目標は、



ようやく待ちに待った桜が開花しました！

【校訓】 歴史を拓く 〈よき歴史と伝統を継承し、自らの力で新しい歴史を拓く〉

【学校教育目標】 ○はつらつとした生徒 ○地域に輝く学校

【学校経営の方針】 生徒が、希望をもって登校し、笑顔で活動し、満足して下校する学校

【目指す生徒像】 「凡事徹底」から「凡事一流」へ

〈当たり前のことを当たり前徹底して行い、その当たり前のレベルを上げる〉

とさせていただきます。歴史を拓くということは、即ち「未来を切り拓く」ことに他なりません。国際化、ICT化が叫ばれ、複雑性や多様性が増している現代社会の中で、生徒たちがどのように未来をとらえ、「なりたい自分」を見つけていくかは、今後大きな課題になっていくと思っております。もっと言えば、2015年に野村総研とオックスフォード大学が共同で行った調査によると、2025年から2035年の間に日本の労働人口の実に49%が置き換わるだろうと予想されています。つまり、これから生きる生徒たちには既存の考えや常識に捉われない、新しい価値観や想像力が求められることは間違いありません。

そうした社会を生き抜くために私は生徒たちに二つの力を求めたいと思っております。それは「笑う（笑わせる）力」と「求める力」です。私はこれを「笑利（しょうり）」「求利（きゅうり）」というスローガンで表現させていただきたいと思っております。「利」という文字には、「勝つこと、得をすること」という意味があります。「笑った分（＝人を笑顔にした分）得をする」「求めた分得をする」。私は今年度の大原中学校がそんな学校であってほしいと願っています。誰にでも無限の可能性が 있습니다。大切なのはその可能性に気付けるかどうか、その可能性を信じられるかどうかだと思います。さらに言えば生徒一人ひとりに誰にも真似できない魅力があります。その魅力を周囲の人たちに積極的に発信することで、自分も周りも笑顔の輪に包まれ、そこに新たな可能性が生まれることを私は信じています。

どうか生徒の皆さんには、今日から始まる新しい学年、新しいクラスを全力で楽しんでほしいと思っております。学校にはそんな皆さんを応援するたくさん先生、職員がいます。悩むこともあるでしょう。でもそれは決して悪いことではありません。遠慮なく相談してください。校長室にもいつでも来てください。一緒に道を切り拓いていきましょう。そして笑顔で一日を終えられるようにしましょう。

これから一年間、大原中学校からたくさん魅力発信していきたいと思っております。